

アミメアリの職形雌

寺 西 暢

[AN ERGATOGYNE OF

PRISTOMYRMEX PUNGENS MAYR

CHO TERANISHI]

かつて動物學雜誌488號, 320頁(1923)に, **アミメアリ**の正常雌の消失について論じた際, 大阪で一定の *Pseudogyne* を捕へた旨報告したが其際その *Pseudogyne* の形態については全然記述しなかつたから此所に寫眞を添へて形態を記載し, 職蟻との比較を試みやうと思ふ. 前には *Pseudogyne* 擬雌としたが其後 *Ergatogyne* 職形雌に入れる可きものである事に氣付いたから此所では *Ergatogyne* と訂正した事をお断りする.

Pristomyrmex pungens Mayr **アミメアリ**

Ergatogyne 標本—1頭, 25—V—1928, 大阪産

頭—明瞭なる3個の單眼を有す, 頂角は 90° , 職蟻の頭に比して大形にして, より横位, 且つより扁平なり, 觸角はより大形なる外差異なく, 皺も大差なし.

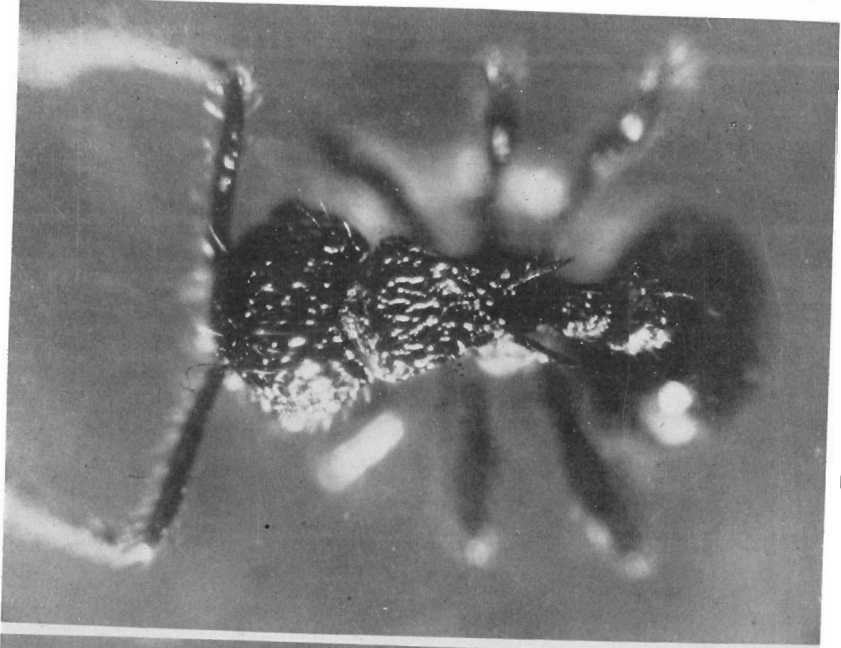
胸—職蟻に比して, より短太, Pronotum, Scutum, Scutelum, Metanotum, 及び Epinotum の部分を區別し得. Scutum と Scutelum とは胸部背面の中央に在りて略圓形をなし, 兩者の境界は一本の明瞭なる殆んど直線の皺によりて示さる. Metanotum と Epinotum との境の皺は極めて弱し. 後胸刺は職蟻に比し大なる外差違なし.

腹柄—職蟻のそれに比し大形なる外差違なし.

腹 — 職蟻のそれよりも大形にして, より横位なり.

職形雌と職蟻との大きさの比較 (單位 mm.)

	頭		胸		腹 柄		腹	
	長サ	巾	長サ	巾	長サ	巾 (後腹柄)	長サ	巾
職 蟻	0.70	0.75	0.70	0.45	0.50	0.25	0.90	0.75
職 形 雌	0.75	0.90	0.75	0.60	0.60	0.30	1.20	1.10



アミアリの職形雌 (×40)



アミアリの職形雌 (×40)